

平成28年度第2回社会教育委員会議会議録						
開催日	平成29年3月29日(水)		開会時間	9時00分		
会場	市役所5階 502会議室		閉会時間	11時00分		
委員の 出欠状況	伊藤 正志	欠	加藤 聡司	出	石原 規子	出
	西 貴美雄	出	川合 香代子	欠	又地 淳	欠
	小田原 紀慧子	欠	花岡 里恵子	出	久米 隼	出
	鳥飼 八五良	出	伊藤 芳夫	出		
	○村山 喜三江	出	長田 真希	出		
	石山 貴宣	出	◎榎本 俊明	出	◎議長 ○副議長	
傍聴者	なし					
事務局	【教育委員会】戸部教育長、星野教育部長 【生涯学習課】亀井課長、鈴木課長補佐、細野統括主査、磯崎主任 【スポーツ青少年課】亀井課長					
議題	(1) 議長の選出について (2) 和光市青少年問題協議会委員の選出について					
研修会	「社会教育委員への期待！」～「る・る・ぶ」の心がけ～ 講師 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 大塚 成穂 氏					

1 開会

2 あいさつ

○戸部教育長

早朝より、第2回和光市社会教育委員会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
市役所の駐車場の南側の桜の木が満開になっており、そういう季節になったんだなと思っております。市役所も人事異動の発表がありまして、それぞれの課が新年度に向けて取組をしているところでございます。

新聞等で皆さんもご存知だとは思いますが、ここ何日か、小学生の大変痛ましい事件や高校生が巻き込まれる大きな事故がありました。

教育行政の立場から、いろいろ課題があるなということを感じる昨今でございます。

本日の社会教育委員会議は、社会教育委員の皆さまに対しての研修がメインになりますが、ぜひ限られた時間ではございますが、研修をしていただいて、日頃の見識をまた深めていただければ幸いかなと思ひまして、本日の会議を設定させていただきました。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 委嘱式

戸部委員が退任され、新たにボーイスカウト和光団から選出された石山委員へ戸部教育長から委嘱書の交付

○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。

4 議題

(1) 議長の選出について

・議長 榎本 俊明委員

(2) 和光市青少年問題協議会委員の選出について

・石山 貴宣委員

5 研修会・意見交換

「社会教育委員への期待！」～「る・る・ぶ」の心がけ～

講師 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 大塚 成穂 氏

6 意見交換

○西委員

時間が過ぎるのがあっという間で、社会教育委員としてのこれからの私自身の仕事等について教えていただいたことに感謝を申し上げたいと思います。

私は学校教育を代表して参加しておりますので、社会教育が学校教育の教育課程に示されるもの以外のものということで、改めて確認させていただきました。

やはり学校教育の中で「生きる力の育成」が叫ばれていて、その力をきちんと付けていくことが、これからの子どもたちの将来にあたっての学べる意欲・自分自身をより良く変えていく姿をイメージしていくことに、改めて大事なんだということを確認させていただきました。

○鳥飼委員

文化団体連合会より選出されております。

詩吟をやっておりまして、大勢の人と付き合いをしていく中で、やはり人と人とのつながり、人間関係が1番大事だと感じました。

これからもさらに、そういったことを努力していこうと思っております。

○村山副議長

体育協会から選出されているのですが、先日スキー教室がありまして、子どもたちと長野に行って来た中で、いろいろぶつかる問題があり、「私がもう少しやれることがあったのかな」、「実際の問題としてどうなのかな」と自分に問いかけながら先生のお話を聞かせていただきました。

やはりいろいろな家庭の子どもたちがいるので、考え方のギャップもありますが、それに対してどのように対応したら良かったのかなと考えると、もう少し早く先生のお話を聞きたかったです。

○石山委員

ボーイスカウト和光団より推薦を受け、今日から務めさせていただきます。

初めてこの場に臨んだわけですが、旧知の各方面で活躍された素晴らしいメンバーもおられて、微力ながら皆さまのご指導を受けて務めさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○加藤委員

PTA連合会の代表として、委員を務めさせていただいております。

PTAの存続意義が問われていて、難しい立場となっておりますが、先生の講演を聞かせていただきまして、もう少し社会教育委員という立場でいられるということに自信を持って、いろいろなところと関わりを持たせていければいいなと考え直したところです。

○花岡委員

民生委員から選出されておりますが、教育と福祉の結びつきのお話などをうかがって、やはり自分の担当の地域でも虐待などがあるので、どのようにしたらいいのか迷うこともありますが、アンテナを高くして見守っていきたいなと思いました。

○伊藤委員

自治会連合会から選出され、長年、住民活動を中心に行っております。

長年地域に貢献された方に、「心から感謝表彰」というものをやらせていただいている、集客や売名行為的な活動ではなく、人と人のつながりを求めるという趣旨で活動しております。

このたび、小学校区の地区社会福祉協議会を立ち上げまして、安心・安全な街づくりのために民生委員さんたちと一緒に住みよい和光市をつくらうと思っているのですが、先生のお話にもあったように、社会教育委員同士の関係というものが、近くで長年お付き合いのある方とは築けておりますが、新たな方との関係はなかなかしつかり築くことができません。地区の校長先生にご理解をいただいているので、学校を含めてこの地域で、安心・安全な街づくりを、高齢者から子どもも含め、進めていこうと思っております。

○長田委員

NPO 子育てネットワークから選出されておりますが、自身も子育て支援センターの職員をやっていて、1番現場に近いところでいろいろな方と出会い、その中で課題を見つけて、それを解決できるようにこの会議に持ってきたり、先生の話の中で、「日本の高校生は自己肯定感が低い」とあったように、実際子どもたちを見て、「どうせ私なんか！」という言葉をよく言っているの、で、「どうせ」という言葉がなぜ出てくるのかを、もう少しいろいろ話をして、そこから見えてくるものを課題として、この会議に出していけたらと感じたので、これからも力になっていけるよう頑張りたいと思います。

○榎本議長

学校教育・社会教育・生涯学習と携わらせていただいたのですが、今日の1時間の講義の中で、先生のように楽しく、自分の個性を出して、いろいろとお話をさせていただくことは大事なことだと思いました。その中で、社会教育としての役割とか心がけとか視点を改めて勉強させていただきました。

○石原委員

地域と学校と行政と子どもを中心とした活動(協働)が1番大切だと思って、社会教育委員を引き受けました。これからも「子どもファースト」で進んでいけたら思っております。

○久米委員

私は、市民の公募委員ということで社会教育委員になりました。

先生のお話にあったように、まさに「行政と市民のパイプ役」ということで、自分もまだ20代ですし、和光市は比較的若い世代が多いという特徴もあるので、そういう点から今までも意見を言ってきたつもりです。今後も和光市に関わっていけたらなと思っておりまして、今日いろいろとご指導いただいた内容を踏まえながら、これからも活動していけたらと思っております。

7 その他

・次回会議の予定と任期満了に伴う委員の改選について

8 閉会